

調査から見える 浦安っ子の今

浦安市では、毎年小学4年生と中学2年生を対象に、市独自の学力調査を6月に実施しています。本調査は実施した学年だけでなく、学校全体での学力向上を目的としています。調査結果から、今の浦安の子どもたちの学習や生活の様子的一端がわかります。

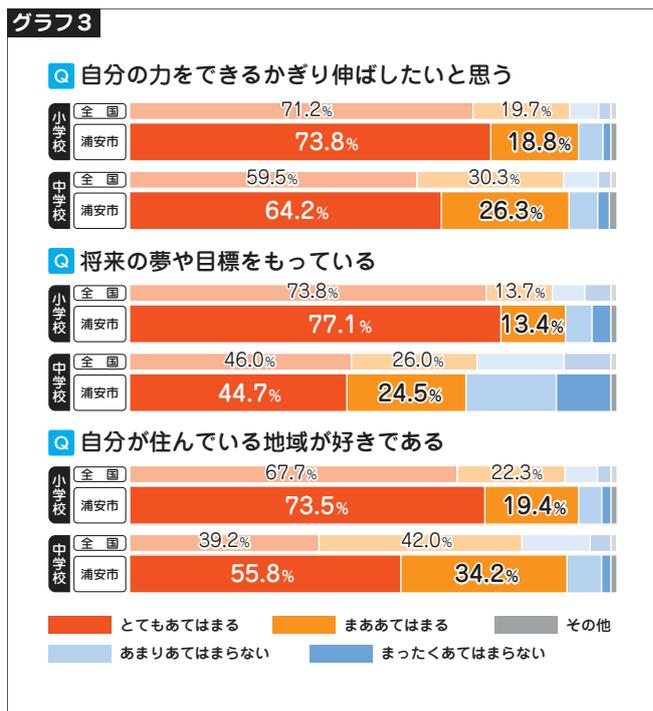
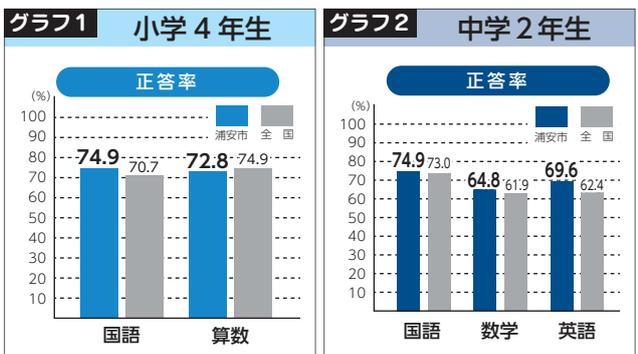


結果をイメージして 予想することの大切さ

成果と課題

本年度は、小学4年生の算数で全国平均を下回るものの、その他の教科で全国平均を上回る結果となっています。特に、小学校の国語では全国を4ポイント、中学校の英語は7ポイント以上上回り、良好な結果となっています。(グラフ1・2)

一方で、昨年同様、小学4年生の算数では「図形」に課題が見られました。「2枚の折り紙から正三角形の切り取り方を考える」問題では、正答率が32%と、全国より11ポイント以上低くなっています。これらは実物を操作して予想を確かめる活動や、立体や工作に表す図画工作の活動といった学習が大切であることを示しています。



自分の力を伸ばし、 夢に向かう浦安っ子

質問紙調査から

「自分の力をできるかぎり伸ばしたいと思う」という設問では、「とてもあてはまる」「まああてはまる」の肯定的回答が、小・中学校ともに全国を0.7ポイント上回り、90%を超えています。

「将来の夢や目標をもっている」という設問では、中学生は全国平均より、やや低いものの、小学生は90%を超えています。

浦安の子どもたちは、将来の夢や目標に向かって自分の力を伸ばそうとしていることがうかがえます。

そして「自分の地域が好きである」と回答した小中学生は、全国平均を大きく上回り、生まれ育った郷土への親しみ、地域とのつながりが高まっています。